

7月15日のウクライナ情報

安斎育郎

●マリウポリのお婆さん、救出体験を語る(2022年7月14日)

<https://twitter.com/RusEmbassyJ/status/1547404763213733888?s=20&t=L9y1ohsBhxfW5FHR7clGw>

●ウクライナ、武器の欧州への密輸の可能性(2022年7月14日)

NATO と EU はウクライナに提供した武器が密輸されている危険性について警鐘を鳴らしている。NATO 加盟国の多くは、ウクライナに供給される武器について、何らかの追跡システムや詳細な在庫リストを整備することについてキーフと協議しているという。「腐敗の国ウクライナ」の汚名をもつウクライナだが、特に軍に100円のカネが渡ると81円がなくなるという情報があったが、祖国防衛戦争である筈の戦時中でもこういうことが起こり得るのか。



ウクライナに供与された西側の兵器がブラックマーケットに転売されることを防ぐため、NATO(北大西洋条約機構)、及び EU(欧州連合)加盟国はウクライナにモニタリング機構の設置を検討している。英紙フィナンシャル・タイムズが政府消息筋を引用して報じた。

報道によると 2 月 24 日以降、西側はウクライナに対し、100 億ドル(1 兆 3700 億円)以上の軍事支援を提供、又はその提供を約束してきた。政府消息筋は取材の中で次のように答えた。

「これら全ての兵器はポーランド南部に到着し、そこから国境へと輸送され、あとは普通に交通機関で輸送されていく。トラックやトレーラー、中には一般の自動車も含まれる。その瞬間から我々はその詳細についてまったく把握していない。どこにたどり着くのか、どこで使用されているのか、そもそも国内に残っているのか」

●サウジ・トルコ・エジプト来年 BRICs 加盟申請予定(2022年7月14日)

サウジアラビアは、トルコおよびエジプトとともに、2023年に BRICs(ブラジル、ロシア、インド、中国によって主導される経済圏)に加盟申請する予定であることを明らかにした。BRICs 長らく米欧日为主导されてきた国際経済政策は、BRICs 抜きでは機能しなくなり、G7 サミットはロシアを加え G8 となったのに加え、G8 は、ここ数年 BRICs および南アフリカ、メキシコなどを招き、協調によって政策の実効性を確保しようとしているが、BRICs は国際政治面でも影響力を増しており、ブラジルは南

米で、インドは南アジアで、ロシアはユーラシアで、中国は東アジアで、それぞれ地域大国として重きをなし、欧米の優位、特にアメリカの一極支配からの自立性を高めようとしている。

<https://twitter.com/Jano661/status/1547518309171875840/photo/1>



●正直ではあるが、「私は他国のクーデター計画に参加した」と(2022年7月13日)

ネオコンの代表的な人物で、国務省きってのタカ派と言われるジョン・ボルトン(元アメリカ国連大使)が、これまでに他国のクーデター組織に参加していたことを認めた。

https://twitter.com/matatabi_catnip/status/1547457913958064131?s=20&t=zy0gdcC2iloESd2hJZ_mYQ

●「ウクライナ避難民」2 人が群馬の滞在先から失踪 支援制度悪用か(毎日新聞、2022年7月15日)

もしも制度の悪用だとすれば、やめて欲しいですね、こういうのは。

<https://mainichi.jp/articles/20220714/k00/00m/040/152000c>

●バイデンはサウジで断られたかな？(FOX、2022年7月17日)

「これ以上の増産能力はない」と王子が言ったとか。

https://twitter.com/mjauemi/status/1548354276933926913?t=ZDd6-VuDU4n3d5qz_hJlIA&s=09

●ウクライナで捕虜になったアメリカ人傭兵の証言(2022年7月17日)

<https://youtu.be/04P15kM3c3Y>

●「やっと来てくれた！」(2022年7月17日)

ズボンがブカブカノの男の子がかわいい。

<https://twitter.com/morpheus7701/status/1548502443079925760?s=20&t>

●ヴィニツァへのロシアの攻撃(2022年7月16日)

? 質問: 7月14日、国連のグテーレス事務総長が「ウクライナ中心部の都市ヴィニツァのミサイル攻撃にショックを受けている」と述べたことについて、コメントをいただきたい。

○ マリア・ザハロワロシア外務省報道官: たしかに、我々もグテーレス事務総長によるこの発言には注目している。次のように述べたい。

ロシア国防省の情報によれば、高精度ミサイル『カリブル』による爆撃はヴィニツァ市の駐屯将校の建物に向けて行われたとのことである。爆撃当時、建物内ではウクライナ軍司令部と外国の兵器供給者との間で会議が行われていたという。これについては、国連でもおそらく知っているはずだ。もし知らないとしたら、なぜウクライナ政府は軍事施設を民間施設のすぐそばに配置するのか、この疑問に答えるようウクライナ政府に求めることをグテーレス事務総長には助言しておく。

●ウクライナで、人間を機に縛り付ける罰(2022年7月17日)

「EU加盟候補国の司法改革を紹介する動画」と冷やかされて紹介されている映像。

https://twitter.com/morpheus7701/status/1548502766691430400?s=20&t=U00_c5_U67I_qm3mmktKVA

●ウクライナへのEUの援助ギクシャク(ワールド・ニュース、2022年7月17日)

この3月にEU加盟国によるウクライナへの90億ユーロの融資がEU委員会(EC=欧州連合の政策執行機関)で提案されていたが、実際には10億ユーロしか用立てられていないという。ドイツが、EU加盟国によるウクライナへの融資という形ではなく、国際通貨基金(IMF)の助成金の形で調達した方がいいとEUを説得しているせいらしい。

15 Jul, 2022 12:57 / Home / World News

EU may cut financial aid to Ukraine - Bloomberg

The EUウクライナへの経済援助止めるかも
ブルームバーグ



3月に通した€9 billionの予算は
€1 billionしか用立てられていない

The funds promised to Ukraine by the EU have been delayed due to concerns over the country's economy and corruption. Bloomberg reported that the EU is now in discussions with the IMF to provide non-refundable grants through the International Monetary Fund rather than loans to Kiev.

Back in March, the European Commission proposed a €9 billion (\$9 billion) loan to Ukraine that would be backed by the guarantees of EU members' governments. However, so far the bloc has managed to agree only on a first tranche worth €1 billion, which was unveiled on Tuesday.

According to Bloomberg, the hang up is because Germany tried to convince the EU to provide non-refundable grants through the International Monetary Fund rather than loans to Kiev.

FILE PHOTO: A man with a Ukrainian flag, 2022. © AP Photo / Matt Dunham

●日本の衆議院議員のロシア入国禁止(2022年7月16日)

ロシア政府は2022年7月15日、日本の衆議院議員384人のロシアへの入国を禁止することを発表した。これまで入国禁止になったのは、4/14 アメリカ 398人、4/27 イギリス 287人、5/5 日本 62人、5/21 アメリカ 963人、5/24 イギリス 154人、5/30 EU 89人、7/16 日本 384人らしい。※EUよりも、イギリスよりも入国禁止者が多い国になりました。

●エコノミスト誌「残酷な冬が来る」(2022年7月16日)

エネルギー供給は、「ロシアが手にする鞭」であるとエコノミスト誌は言う。

ロシアのGDPに占める石油の割合は10%だが、ガスは2%に過ぎず、それが輸出がなくてもロシアにとってはさほど深刻な問題ではないと言われる。



●マクロン大統領:「フランスは戦争の終結を望んでいる」(2022年7月16日)

フランスのマクロン大統領は、フランスのメディアに対するコメントでこのように語った。「紛争の見通しについては非常に悲観的である、特にドンバス情勢を秋までに終える事は非常に難しい。フランスはウクライナ紛争の終結を望んでおり、国境を越えて紛争が拡大し新たな世界大戦に発展する事は望んでいない」。



●気休めに:もしもカメよカメさんよ♪(助け合い運動)

<https://twitter.com/morpheus7701/status/1548519819146072064?s=20&t=U00c5U67Iqm3mmktKVA>